

昭和38年度総会ならびに春季大会告示

1. 期日 5月15日(水), 16日(木), 17日(金)
2. 場所 新潟市新潟県自治会館
3. 総会提出の議題募集
 - 1) 締切: 3月10日
 - 2) 宛名: 東京都千代田区大手町気象庁内 日本気象学会 封筒の表に「総会関係」と明記のこと。
 - 3) 内容: 議題名とともに必ず提案理由をつけること。
4. 研究発表募集
 - 1) 講演申込締切: 3月10日(日) 必着
 - 2) 申込先: 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎
 - 3) 様式: 必ず所定の用紙に記入すること(天気本号挿入)。用紙不足の場合は事務局または支部に請求されたい。
 - 4) 講演時間: 討論を含めて15分以内
5. 予稿集刊行について
前回と同じ要領で予稿集を刊行します。予稿には必ず研究結果を記載すること。原則として予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者は必ず提出願います。
なお講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を明記して下さい。
予稿提出先: 気象庁測候課 清水逸郎
期限: 4月10日(水)

月例会のお知らせ

2月の月例会

主題: 観測と測器

会期: 昭和38年2月8日(金) 13時30分より

会場: 気象庁第1会議室

シンポジウム: これからの気象観測について

司会者 吉武素二

話題提供者

1. 栗原宜夫(気研予報): 大規模現象解析の立場から
2. 大沢綱一郎(気象庁海上気象): 中規模現象解析の立場から
3. 大谷和夫(名古屋気象台): 観測者の立場から

主題: 長期予報

会期: 昭和38年2月19日(火) 13時30分より

会場: 気象庁中村記念館

1. 佐藤和敏(気象庁長期予報): 梅雨明け予想の一つの試み (20分)
2. 広瀬元孝(気研予報): 客観的類似法による長期予報 (20分)
3. 柏原辰吉(札幌管区): 北海道における季節変化過程の研究(第1報) (20分)
4. 松倉秀夫(仙台管区): 大気循環と緯度変化との関係について(第2報) (20分)
5. 荒井 康(気研予報): 長波の統計的解析(20分)
6. 岸保勤三郎(気象庁電計): 海面からの顕微輸送を考慮した予報 (20分)

主題: レーダー気象

会期: 昭和38年2月28日(木) 9時30分より

会場: 気象庁第1会議室

1. 藤原美幸・柳瀬利子・市村市太郎(気研台風): 熱帯低気圧前面に生じた驟雨のレーダーと雨滴による解析 (20分)
2. 渡辺和夫(気研台風): エコーの移動ならびに形状と風の垂直シアーについて (20分)
3. 西尾厚治(名古屋気): エコー出現ひん度分布の一考察 (10分)
4. 稲垣豊秋(鹿児島気): 強い低気圧のレーダー解析 (20分)
5. 井手利四郎(鹿児島気): 九州南方海上を通る低気圧に伴うエコーの基本型と温暖前面におけるエコー (20分)
6. 種子島測候所: 種子島で観測されたレーダーエコーについて (20分)
7. 柳沢善次・荒井慶子(気研台風): 台風前面のエコー特性について (20分)
8. 土井謙二(福岡管区): レインバンドの発生と移動 (20分)
9. 岡村 存(福岡管区): エコーの移動速度から台風中心と移動速度を求める方法 (15分)
10. 今井一郎(気研台風): 上陸による台風眼の変形 (15分)
11. 立平良三・深津 林(名古屋気): 寒冷前線のレーダー解析 (15分)
12. 深津 林(名古屋気): レーダーで見た東海北陸地方の雪しぐれ (15分)

討論: レーダー気象学の将来展望